

第4次府中市保健計画における第3編概要

資料3-1

基本方針 1 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

具体的取組 1 からだの健康づくりを支援する

<課題>
健（検）診の未受診者への対応
生活習慣の改善に繋がる事業の浸透が不十分

<方向性>
・健康意識を高める情報発信や受診勧奨の推進
・受診や生活習慣の改善につながる行動促進に向けた取組強化

<主な取り組み>
・健康づくりに関する正しい知識の普及啓発
・対象者に応じた受診率向上を図る取り組みの推進
・生活習慣改善の促進
・健（検）診結果に応じた継続的な治療や支援への連携

具体的取組 2 こころの健康づくりを支援する

<課題>
不調に気づきにくく、相談や受診につながない市民への対応
関心の薄い層も含めた相談行動や支援利用行動の浸透が不十分

<方向性>
・不調への気づきや支援につなげる効果的な啓発の推進
・相談窓口の充実と関係機関との連携強化により、必要なときに支援につながる体制の整備

<主な取り組み>
・多様な媒体によるこころの健康づくりに関する情報発信
・ライフステージや状況に応じた伴走支援
・関係機関との連携による継続的支援体制の強化

具体的取組 3 健康を保持・増進できる環境づくり

<課題>
運動習慣の定着していない市民への存在
相談窓口の活用の不十分

<方向性>
・無理なく健康づくりに取り組める環境の整備
・関係機関と連携を強化し、支援につながりやすい相談支援体制の構築

<主な取り組み>
・日常生活で健康づくりに取り組める環境整備
・かかりつけ医の普及や関係機関との連携強化による切れ目のない仕組みの構築
・必要な支援につながる相談体制の整備

市民に期待する取組

生活習慣を見直し健康的な生活を心がける
健（検）診を定期的に受診し、健康状態を把握する
健康に関する情報を得て健康づくりに活かす

自分のこころの不調に気づき、相談する
身近な人のこころの不調に気づき、相談を勧める

健康的な生活習慣を継続していく
かかりつけとなる相談先を持ち相談できる
健康づくりに際して相談先となる施設や関係機関等を知る

第4次府中市保健計画における第3編概要

基本方針 2 ソーシャルキャピタルを活用した健康づくりの推進

具体的取組 1

元気いっぱいサポーターを育成・支援する

<課題>

登録者数の減少

サポーターの認知度や活動機会の活用が不十分

<方向性>

- ・ 情報発信におけるサポーター登録の促進
- ・ 活動機会の拡大
- ・ 活動しやすい環境整備

<主な取り組み>

- ・ 幅広い主体に登録を促す情報発信
- ・ サポーターの知識やつながりを意識した活動機会の充実
- ・ サポーターと連携した地域での健康づくり活動の検討

具体的取組 2

協働による健康づくりを推進する

<課題>

地域のつながりの希薄化による健康づくりを支える基盤の脆弱性

企業、団体と連携した地域ぐるみの取り組みの不足

地域における居場所の不足

<方向性>

- ・ 市民活動の取組を行う団体の活動支援
- ・ 団体や企業等との協働強化し地域ぐるみでの健康づくりの促進
- ・ 日常的な支えあい広がる交流やつながりの機会の充実

<主な取り組み>

- ・ 団体や企業等との連携・協働の推進
- ・ 地域とのつながりを深める取り組みの推進

市民に期待する取組

元気いっぱいサポーターの役割を理解し、登録・活動する
自らの健康づくりに取り組むとともに、健康づくりを身近な人や地域に広げる

地域・職場・趣味のグループなど、自宅以外の自身の居場所を見つける
市の取り組みや地域活動、地域のまつり・イベントに関わりつながりを
広げ、健康づくりにつなげる

第4次府中市保健計画における第3編概要

基本方針 3 健康危機管理体制の充実

具体的取組 1 熱中症対策を充実する	具体的取組 2 感染症対策を充実する	具体的取組 3 大規模災害等を想定した対策を推進する
< 課題 > 熱中症搬送者の増加への対応 熱中症への予防行動の浸透が不十分 < 方向性 > ・近年の気候変動に応じた、各世代の特性を踏まえた熱中症対策の検討と推進 < 主な取り組み > ・指定暑熱避難施設の増設 ・適切な冷房の使用など熱中症予防の啓発 ・職域における対策の必要性の啓発 ・熱中症対策推進委員会における庁内連携	< 課題 > 市民の感染症予防に対する意識の不足 予防接種率の向上 < 方向性 > ・日常的な体調管理・感染症対策等の情報についての啓発 ・予防接種の必要性や市で実施している予防接種に関する情報発信 < 主な取り組み > ・感染症対策に関する行動変容を促す効果的な普及啓発 ・対象に応じた各種予防接種の実施	< 課題 > 近年発生した災害やその対応の経験を踏まえた体制整備が不十分 災害への備えに関する意識の格差 < 方向性 > ・災害対応能力の向上のための対策と支援の充実 ・防災意識の向上と行動変容の促進 < 主な取り組み > ・総合防災訓練等を介した体制の見直し ・災害対策の必要性の周知 ・発災時に必要な保健衛生活動等の実施

市民に期待する取組

屋内の適切な冷房使用、屋外の帽子・日傘使用、こまめな水分摂取 指定暑熱避難施設を知り、必要時に利用する	体調管理や感染症対策を行い、予防接種の必要性や市の実施内容を理解し、活用する 感染症の知識を深め、予防対策を実践する	大規模災害に備え、避難場所の把握と必要物資の備蓄を行う 災害時には自身の安全確保と周囲の避難支援を行うとともに、体調管理に注意を払う
--	---	---